

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 3 月 9 日作成)

小委員会名	情報社会デザイン小委員会	主 査 名：本江正茂 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：加賀有津子
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2011 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報社会」と「デザイン」の関係について考える。 ・4 つの WG を設置し、それぞれに活動。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：本江正茂 (東北大学) 幹事：渡邊朗子 (東京電機大学) 委員：篠崎道彦 (芝浦工業大学)・沖塩荘一郎 (東京理科大学)・仲隆介 (京都工芸繊維大学)・大内宏友 (日本大学)・小鷹義和 (ソニーファシリティマネジメント)・山代 悟 (ビルディングランドスケープ)	
設置 WG (WG 名：目的)	空間生命化デザインWG ：人の情報活動を支援し、情報技術と融合する建築空間の在り方を空間生命化ととらえ、その概念構築と具体化について研究すること 生命環境モデルWG ：地球環境・地圏生物圏も視野に入れた建築・都市・地域計画における生命環境の空間のモデル化 ファシリティ・デザイン&マネジメントWG ：ユビキタス社会にふさわしい“場 (ファシリティ)”に関する議論を行い、ファシリティのデザインからマネジメントに至る分野の研究 行動センサリングWG ：行動センサリング (RFID-Tag、センサー、GPS などを用いて、人間や組織の行動を把握する) を切り口として、行動と環境の関係を研究すること	
2010 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (空間生命化デザイン WG:10 回、生命環境モデル WG:3 回、ファシリティ・デザイン&マネジメント WG:4 回、行動センサリング WG:7 回)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 1 回行動センサリングシンポジウム「建築空間と人の状況をリアルタイムで把握することにより広がる建築の可能性」 参加者数 110 名 『同名資料』
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 地方の委員が多いこともあり、小委員会を十分に開催することはできなかった。 2. 各 WG は意欲的に活動しているものの、成果の発信は限定的であった。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員の所在が全国に分散している為、会合の設定が難しい。
その他	UIA2011 東京大会の学術プログラムとして実施する「論文発表」における 3 つのサブテーマの 1 つである「生命・生活」のコーディネーター及び査読委員長をはじめ生命環境 WG の委員が主体となり運営する。